

日本医史学雑誌第四十卷総目次

原 著

近代日本における社会衛生学の展開とその特質

..... 瀧澤 利行...二二〇〜二二三

山脇東門及び荻野元凱とオランダ医学

..... MACE・美枝子...三三〇〜三三三

函館医学学校記録(生徒資料より).....石崎 達...一五五〜一八四

金沢貞顕文書の医史学的研究.....樋口誠太郎...一八五〜二〇〇

戦前合州国に留学した精神病学者たち(上)

..... 松原三郎、齋藤玉男、石田昇ほか

山下御門内仮病院.....岡田 靖雄...二五五〜二七九

鷗外の『独逸日記』にあるモアビット病院とその歴史

..... 黒澤 嘉幸...二六一〜二九三

戦前合州国に留学した精神病学者たち(下)

..... 泉 彪之助...三九〇〜四三三

..... 松原三郎、齋藤玉男、石田昇ほか

..... 岡田 靖雄...四三三〜四四四

「飲」の病の起源 —— 仏教医学の「瘧」の病とのかかわり ——

..... 遠藤次郎・中村輝子・八卷英彦・宮本浩和...四四五〜四四六

研究ノート

明治期の陸軍看護術.....黒澤 嘉幸...二〇一〜二〇九

済生学舎廃校の歴史.....唐沢 信安...二九三〜三〇四

近代日本鍼術の抛り所.....濱田 淳・長尾榮一...三〇五〜三三三
維新期のドイツ留学生の光と影
——ドイツ大学最初の日本人学籍登録者赤星研造について——

資 料

結核外科における肋膜外合成樹脂充填術

..... 藤倉一郎・藤倉知子...三二一〜三二六

池田文書の研究(十).....池田文書研究会...三二七〜三三六

池田文書の研究(十一).....池田文書研究会...三三五〜三三三

日中韓古医籍の所蔵目録

..... 王 鉄策・小曾戸 洋・真柳 誠...四七〇〜四七六

池田文書の研究(十二).....池田文書研究会...四七五〜四八八

記 事

消 息

日本医史学会関西支部例会.....長門谷洋治...三七七

日本医史学会関西支部一九九四(平成六)年春季大会

..... 長門谷洋治...三七七

山脇東洋墓碑・山脇社中解剖供養碑再建記念事業を終えて

..... 杉立 義一...四八九

第四回国際アジア伝統医学大会(The 4th International Congress on Traditional Asian Medicine).....真柳 誠...四九一

例会抄録

『医外史』の研究.....小池 猪一...三七七

三浦梅園の生理学体系——とくに臟腑・経脈・筋骨の機能に

ついて.....近藤 均...三六六

J・B・シッドールの衛生指導……………中西 淳朗：三九
『癩痴狂経験編』の著者土田獻による下気円引き札

……………岡田 靖雄：三二
上山藩医奥山玄育と荻野元凱……………深瀬 泰旦：三七
幕末薩摩藩と大円寺……………中西 淳朗：三六

ケガレと臓器移植……………杉田 暉道：三〇
横浜・太田陣屋の研究……………中西 淳朗：三三

近世日本の医薬界における神農画賛流行の背景
……………小曾戸 洋：三三

金光明最勝王経にみる医学……………杉田 暉道：四三
やみの医術―鳩鳥―実在から伝説へ……………真柳 誠：四六

浅野聡一郎とコレラ……………荒井 保男：四六

紹介

斎藤信夫著『指の文化誌』……………石原 理年：三三
大塚恭男著『東西生薬考』……………宗田 一：三四

森 重孝著『鹿兒島の医学』……………田代 逸郎：三五
田中助一著『能美洞庵略伝』……………江川 義雄：三七

梅溪 昇著『洪庵、適塾の研究』……………杉立 義一：三八
星 和夫著『楽しい医学用語ものがたり』……………三輪 卓爾：三九

三浦豊彦著『快適環境のフォークロア』……………山本 俊一：四一
片桐一男著『蘭学、その江戸と北陸―大槻玄沢と長崎造船―』
……………津田 進三：四三

トーマス・D・ブロック著『ローベルト・コッホ
―医学の原野を切り拓いた忍耐と信念の人―』……………深瀬 泰旦：四三

宗田 一著『渡來薬の文化誌』……………大塚 恭男：四四
小林健二・宮川浩也編『素問・靈枢総索引』……………真柳 誠：四五

吉岡郁夫・長谷部学著『ミルンの日本人種論
―アイヌとコロボクグル―』……………戸部 一郎：三四

堀内 冷著『兵庫医史散歩』……………奥沢 康正：三六
フォス美弥子編訳『幕末出島未公開文書―ドンケル
クルチウス覚え書』……………ヴォルフガング・ミヒェル：三七

坂井建雄著『からだの自然誌』……………永野 貞子：三八
小池猪一著『図説・日本の「医」の歴史』……………蒲原 宏：四〇

室賀正信著『沼津・室賀病院―医系家族百年の記録―』
……………土屋 重朝：四二

山本俊一著『日本らい史』……………新村 拓：四三
蒲原 宏著『新潟県医学史覚書』……………大滝 紀雄：四四

長谷川正康著『菌の風俗誌』……………谷津 三雄：四五
田崎哲郎編『在村蘭学の展開』……………吉田 厚子：四七

宮澤正順著『素問・靈枢』……………宮川 浩也：四八
新藤恵久著『木床義齒の文化史―世界に駆けた
日本の職人芸―』……………神原悠紀田郎：四九

エドワード・クック著、中村妙子・友枝久美子訳
『ナイチンゲール（その生涯と思想）I』……………山根 信子：五一

根本幸夫他著『陰陽五行説・その発生と展開』
……………林 克：五一

中原泉訳『人体構造論抄―ヴェサリウスの the Epitome―』
……………近藤 均：五〇

鶴見大学図書館『特定テーマ別蔵書目録集成4
―漢方と泰西医学―』……………小曾戸 洋：五〇

第九五回 日本医史学会 総会演題目次

会長講演

仏教と医療とのかかわり——古代インドから

現代日本までの移りかわり……………杉田 暉道…一

特別講演①

「横浜軍陳病院」の再検討……………中西 淳朗…五

特別講演②

米医 D・B・シモンズについて……………荒井 保男…一〇

一般口演

1 幕末および明治中期における日本プロテスタント・

ミッションの医療伝道について……………高安 伸子…三

2 東京府病院長としての長谷川泰……………唐沢 信安…四

3 筒井八百珠と『臨床医典』……………小田 皓二…二六

4 鍼灸・治効理論の変遷……………高島 文一…一八

5 一七世紀後半の医学書に見るらい病観……………横田 則子…二〇

6 内分泌の概念のおこり……………藤田 尚男…三

7 日本における早発癡呆……………

——精神分裂病概念の受容……………岡田 靖雄…三

8 カスパル流外科について……………

……ヴォルフガング・ミヒェル…二六

9 Scultetus の Armamentarium Chirurgicum

(外科の兵器庫)の書誌学的研究……………蒲原 宏…三六

10 『撒氏産論』の原著者ゴットリープ・

サロモンについて……………石原 力…三〇

11 医学教育への薬学の協力……………中室 嘉祐…三三

12 明治はじめの京都の薬事政策——調剤資格の

施策をめぐって……………小野尚香・多田羅浩三…三四

13 家庭配置薬業の現状と問題……………松下 正巳…三六

14 『万安方』にみられる麻疹の記載……………広田 暉子…三六

15 『啓迪集』所引文献の検討：王 鉄策・小曾戸洋…四〇

16 三浦梅園『贅語』身生帙改稿過程研究序説

——各稿本類の起稿・推敲年次の推定……………近藤 均…四四

17 日本における食品分析の起源……………寺畑 喜朔…四四

18 東大医学部生化学教室創設者隈川宗雄とその一族

……………中山 沃…四六

19 モアビットなる市病院……………泉 彪之助…四六

20 中世ヨーロッパの衛生思想 Six Non-Naturals

……………平尾真智子…五〇

21 クワック(Quack)——一八世紀オランダの巡回医療職

について……………石田 純郎…五三

22 アンリ・モンドールについて——フランスの外科医

そして文学者……………今泉 孝…五五

23 『明月記』に表れる藤原定家の歯痛に関する考察

……………戸出 一郎…五五

24 開国と日本歯科……………新藤 恵久…五九

25 象牙質神経線維に関する歴史の変遷について

- 26 R・ブライト医師の“Reprints of Medical Cases”
(1827)(Vol.1)の内容について……………会田 恵…三六
- 27 アルブレヒト・フォン・ローレツの研究(一)
……………小形 利彦・エリツヒ・ラブル…六四
- 28 明治初期の軍医学校……………黒澤 嘉幸…六六
- 29 海軍大医監奥山虎炳……………深瀬 泰旦…六六
- 30 芸備瀬戸内海沿岸、島部の医史概観……………江川 義雄…七〇
- 31 日清・日露戦争時の恩賜の義肢の研究
——リハビリテーション史の観点から——……………坪井 良子…七三
- 32 『空襲救護』について……………谷津三雄・渋谷 鈺…七四
- 33 瀉血の歴史……………藤倉一郎・藤倉知子…七六
- 34 『啓迪集』の瀉血療法……………友部和弘・真柳 誠…七六
- 35 華岡流の図説書……………真柳 誠…八〇
- 36 華岡青洲の麻酔法の普及——福井における
橋本左内による二手術について——……………松木 明知…八三
- 37 中国医学と道教(VIII・日本古代史から)
……………吉元 昭治…八四
- 38 古代日本に於ける呪術医療への考察……………稲垣 直…八六
- 39 『史記』扁鵲倉公伝の幻雲注所引の『難経』に
ついて……………宮川 浩也…八八
- 40 馬王堆『南方禹蔵』図考……………猪飼 祥夫…九〇
- 41 野口英世の師、渡部鼎、そのI——父・思斉——
……………石原 理年…九三
- 42 産婦人嘉医緒方正清(一八六四—一九一九)
……………長門谷 洋治…九四
- 43 高岡長崎家収蔵の『蓼山翁方集』をめぐる
……………正橋 剛二…九六
- 44 長崎浩斎『医者物語』と吉田長淑……………津田 進三…九六